



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 創健社

コード番号 7413 URL <http://www.sokensha.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中村 靖

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 本田次男

TEL 045-491-1441

四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	3,609	13.9	39	—	43	—	64	53.0
27年3月期第3四半期	3,168	0.7	△45	—	△42	—	42	986.2

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 62百万円 (49.8%) 27年3月期第3四半期 42百万円 (256.9%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
28年3月期第3四半期	9.22	—	—	—
27年3月期第3四半期	6.01	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円	銭	円	銭
28年3月期第3四半期	3,083	—	1,071	—	34.7	—	153.08	—
27年3月期	2,671	—	1,018	—	38.1	—	144.46	—

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 1,071百万円 27年3月期 1,018百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	4,600	8.8	30	—	28	—	45	15.8	6.41	—

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細については、5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	7,055,000 株	27年3月期	7,055,000 株
28年3月期3Q	57,009 株	27年3月期	6,759 株
28年3月期3Q	7,019,850 株	27年3月期3Q	7,048,320 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料] 4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	11
(その他注記事項)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年12月31日)におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融緩和政策の推進により、国内景気は緩やかな回復基調がみられたものの、中国経済の景気減速と国際情勢不安に起因した世界経済の下振れ等の懸念の他、個人消費におきましては、節約志向の影響から消費者マインドの回復は遅れており、依然として先行きに不透明感が残る状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く食品業界におきましては、食の安全に対する社会的な関心の高まりに加え、円安による輸入原材料価格の上昇等、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような経営環境の下、当社グループは「食」が持つ大切さを訴え続けるという企業使命を果たすため、第3次中期経営計画『「50周年を迎え、新購買層への更なるアプローチ」(平成26年4月1日から平成29年3月31日まで)』の2年目となります当連結会計年度におきましては、新しい顧客層やその予備軍が多く存在しているマーケットを積極的に開拓・育成し、当社グループブランド商品の新しいファン作りに注力するとともに、海外への輸出を検討し、営業利益を安定的なものへとするため、売上高と売上総利益額の拡大を図るように役員・社員一丸となって取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの商品品目別売上高につきましては、「油脂・乳製品」がマーガリン等の売上減があったものの、えごま油及びココナッツオイル等の売上増により、前年同四半期比2億54百万円増(55.3%増)の7億14百万円、「調味料」が液体だし及び蜂蜜等の売上減があったものの、ドレッシング及びマヨネーズ並びにカレー等の売上増により、前年同四半期比1億27百万円増(13.6%増)の10億67百万円、「栄養補助食品」が乳酸菌及びキダチアロエ等の売上減があったものの、梅エキス及びユーグレナ等の売上増により、前年同四半期比26百万円増(17.6%増)の1億75百万円、「副食品」がみそ汁及びスープ等の売上減があったものの、即席ラーメン及び鮭ほぐし等の売上増により、前年同四半期比21百万円増(3.0%増)の7億42百万円、「嗜好品・飲料」が梅果肉ドリンク及びプルーンの実等の売上減があったものの、チョコレート及びポテトチップス等の売上増により、前年同四半期比16百万円増(3.0%増)の5億70百万円、「乾物・雑穀」が雑穀及び押麦等の売上減があったものの、パン粉及びキヌア並びにチアシード等の売上増により、前年同四半期比2百万円増(1.0%増)の2億33百万円と前年同四半期比で上回ることができました。しかしながら、「その他」が寝具用掃除機及び虫除けスプレー等の売上増があったものの、スチームオーブン等の売上減により、前年同四半期比7百万円減(6.6%減)の1億7百万円となりました。

この結果、全体の売上高は36億9百万円(前年同四半期比4億41百万円増、13.9%増)となり、売上総利益率は26.0%と前年同四半期比0.4ポイント増となりました。販売費及び一般管理費は8億99百万円(前年同四半期比43百万円増、5.1%増)となり、営業損益につきましては、営業利益39百万円(前年同四半期は営業損失45百万円)となり、経常損益につきましては、経常利益43百万円(前年同四半期は経常損失42百万円)という結果にて終了しました。また、親会社株主に帰属する四半期純損益につきましては、受贈益18百万円及び投資有価証券売却益11百万円の特別利益の発生があり、親会社株主に帰属する四半期純利益は64百万円(前年同四半期比22百万円増、53.0%増)となりました。

品目別販売及び仕入実績の状況

当社グループの事業は単一グループであり、当第3四半期連結累計期間の販売及び仕入実績をセグメントごと及び事業部門ごとに示すことができないため、品目別に示すと、次のとおりであります。

① 販売実績

品目別	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)			主要商品
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	前年同四半期比	
油脂・乳製品	460,028	14.5	714,311	19.8	55.3%増	マーガリン・ベに花油・えごま油・オリーブ油・ココナッツオイル
調味料	939,604	29.7	1,067,491	29.6	13.6%増	醤油・味噌・砂糖・塩・酢・カレー・シチュー・マヨネーズ・ドレッシング・液体だし・顆粒だし
嗜好品・飲料	553,251	17.5	570,025	15.8	3.0%増	菓子・野菜果汁飲料・お茶・ドライフルーツ
乾物・雑穀	231,165	7.3	233,418	6.4	1.0%増	小麦粉・パン粉・米・黒米・雑穀・鰹節・昆布・ひじき・蓮根粉・ハトムギ粒・餅きび・押麦・キヌア・切干大根・チアシード
副食品	720,622	22.7	742,032	20.6	3.0%増	ジャム・スープ・レトルト食品・麺類・缶詰・熟成発酵黒にんにく・パンケーキ粉・らっきょう甘酢漬・シリアル食品・みそ汁・スープ・お節お重商品
栄養補助食品	149,014	4.7	175,255	4.8	17.6%増	青汁・キダチアロエ・梅エキス・ユーグレナ・ハトムギ酵素・乳酸菌・天茶エキス・コラーゲン・碁石茶
その他	114,685	3.6	107,151	3.0	6.6%減	トイレットリー・機械器具・化粧品・虫よけスプレー
合計	3,168,371	100.0	3,609,686	100.0	13.9%増	—

② 仕入実績

品目別	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)		
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	前年同四半期比
油脂・乳製品	350,484	14.8	549,833	20.3	56.9%増
調味料	701,583	29.7	802,420	29.6	14.4%増
嗜好品・飲料	417,835	17.7	448,413	16.6	7.3%増
乾物・雑穀	186,755	7.9	193,213	7.1	3.5%増
副食品	506,707	21.4	512,162	18.9	1.1%増
栄養補助食品	99,245	4.2	114,959	4.2	15.8%増
その他	100,631	4.3	88,381	3.3	12.2%減
合計	2,363,242	100.0	2,709,382	100.0	14.6%増

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3億70百万円の増加となりました。この主な要因は、「受取手形及び売掛金」の3億51百万円増加などによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて41百万円の増加となりました。この主な要因は、「保険積立金」の15百万円増加及び「投資その他の資産その他」の（差入保証金）14百万円増加並びに「土地」の9百万円増加などによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて4億11百万円増加し、30億83百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて3億84百万円の増加となりました。この主な要因は、「支払手形及び買掛金」の3億22百万円増加及び「短期借入金」の52百万円増加などによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて25百万円の減少となりました。この主な要因は、「長期借入金」の18百万円減少及び「退職給付に係る負債」の7百万円減少などによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて3億58百万円増加し、20億12百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて53百万円の増加となりました。この主な要因は、「自己株式」の9百万円増加などがあつたものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による「利益剰余金」の64百万円増加などによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、財務活動の結果20百万円を得て、営業活動の結果45百万円及び投資活動の結果30百万円を使用し、当第3四半期連結会計期間末には9億65百万円（前年同四半期比1億40百万円減）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動に係るキャッシュ・フローとして仕入債務の増加額3億25百万円などにより一部相殺されたものの、売上債権の増加額3億51百万円及びたな卸資産の増加額60百万円などにより、営業活動の結果使用した資金は45百万円（前年同四半期は17百万円の獲得）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に係るキャッシュ・フローとして投資有価証券の売却による収入17百万円などにより一部相殺されたものの、保険積立金の積立による支出20百万円及び差入保証金の差入による支出15百万円並びに有形固定資産の取得による支出14百万円などにより、投資活動の結果使用した資金は30百万円（前年同四半期は49百万円の獲得）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に係るキャッシュ・フローとして長期借入金の返済による支出1億74百万円及び自己株式の取得による支出8百万円などにより一部相殺されたものの、長期借入れによる収入1億60百万円及び短期借入金の純増額50百万円により財務活動の結果獲得した資金は20百万円（前年同四半期比50百万円減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想に関しましては、前回予想（平成27年5月15日に発表いたしました連結業績予想）から変更はありません。

なお、今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関して修正の必要が生じましたら、速やかに開示する予定であります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(4)、連結会計基準第44－5項(4)及び事業分離等会計基準第57－4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,213,335	1,156,333
受取手形及び売掛金	681,239	1,033,018
有価証券	42,328	42,342
商品及び製品	213,408	272,120
仕掛品	58	86
原材料及び貯蔵品	26,634	28,156
その他	18,311	33,337
貸倒引当金	△902	△399
流動資産合計	2,194,414	2,564,996
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	290,337	293,762
減価償却累計額	△231,854	△231,052
建物及び構築物（純額）	58,483	62,710
土地	79,033	88,371
リース資産	41,929	47,103
減価償却累計額	△22,744	△27,594
リース資産（純額）	19,185	19,508
その他	183,895	184,633
減価償却累計額	△163,558	△163,201
その他（純額）	20,336	21,431
有形固定資産合計	177,039	192,022
無形固定資産		
のれん	177	44
その他	10,783	13,709
無形固定資産合計	10,960	13,754
投資その他の資産		
投資有価証券	127,402	119,403
保険積立金	124,888	140,006
その他	37,653	54,615
貸倒引当金	△625	△1,248
投資その他の資産合計	289,319	312,776
固定資産合計	477,320	518,553
資産合計	2,671,734	3,083,549

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	488,521	810,911
短期借入金	471,748	524,072
リース債務	8,712	9,209
未払法人税等	12,135	8,023
賞与引当金	10,719	12,703
その他	101,944	112,916
流動負債合計	1,093,781	1,477,835
固定負債		
長期借入金	222,719	203,764
リース債務	11,519	11,998
繰延税金負債	17,029	16,405
役員退職慰労引当金	93,800	92,000
退職給付に係る負債	184,135	176,593
その他	30,561	33,690
固定負債合計	559,764	534,452
負債合計	1,653,546	2,012,287
純資産の部		
株主資本		
資本金	920,465	920,465
資本剰余金	411,979	45,965
利益剰余金	△349,848	80,919
自己株式	△1,183	△11,062
株主資本合計	981,411	1,036,287
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,776	34,974
その他の包括利益累計額合計	36,776	34,974
純資産合計	1,018,188	1,071,261
負債純資産合計	2,671,734	3,083,549

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	3,168,371	3,609,686
売上原価	2,357,648	2,670,031
売上総利益	810,723	939,654
販売費及び一般管理費	※ 856,093	※ 899,838
営業利益又は営業損失(△)	△45,370	39,816
営業外収益		
受取利息	109	127
受取配当金	2,226	1,727
仕入割引	1,921	2,678
貸倒引当金戻入額	946	-
為替差益	24	-
破損商品等賠償金	204	1,232
その他	1,319	1,438
営業外収益合計	6,751	7,203
営業外費用		
支払利息	3,543	3,284
その他	125	259
営業外費用合計	3,669	3,543
経常利益又は経常損失(△)	△42,288	43,476
特別利益		
固定資産売却益	703	335
投資有価証券売却益	93,723	11,418
保険解約返戻金	-	4,029
受贈益	-	18,707
特別利益合計	94,427	34,491
特別損失		
固定資産売却損	-	441
固定資産除却損	0	331
保険解約損	-	591
特別損失合計	0	1,363
税金等調整前四半期純利益	52,138	76,604
法人税、住民税及び事業税	10,136	11,850
法人税等合計	10,136	11,850
四半期純利益	42,002	64,754
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△331	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	42,333	64,754

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	42,002	64,754
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24	△1,802
その他の包括利益合計	24	△1,802
四半期包括利益	42,027	62,952
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	42,358	62,952
非支配株主に係る四半期包括利益	△331	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	52,138	76,604
減価償却費	19,521	22,005
のれん償却額	132	132
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,410	△7,542
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5,500	△1,800
賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,357	1,984
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,530	119
受取利息及び受取配当金	△2,335	△1,854
仕入割引	△1,921	△2,678
支払利息	3,543	3,284
受贈益	—	△18,707
為替差損益(△は益)	△24	—
固定資産除却損	0	331
保険解約損益(△は益)	—	△3,438
固定資産売却損益(△は益)	△703	105
投資有価証券売却損益(△は益)	△93,723	△11,418
売上債権の増減額(△は増加)	△265,370	△351,798
破産更生債権等の増減額(△は増加)	776	△622
たな卸資産の増減額(△は増加)	△20,334	△60,262
仕入債務の増減額(△は減少)	298,645	325,747
未払消費税等の増減額(△は減少)	15,118	△14,415
その他	21,194	14,073
小計	26,680	△30,150
利息及び配当金の受取額	1,977	1,570
利息の支払額	△3,315	△2,984
法人税等の支払額	△8,035	△13,926
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,307	△45,491
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△234,350	△234,350
定期預金の払戻による収入	234,650	235,100
有形固定資産の取得による支出	△17,229	△14,139
有形固定資産の売却による収入	728	382
無形固定資産の取得による支出	—	△7,052
投資有価証券の取得による支出	△212	△116
投資有価証券の売却による収入	77,073	17,319
貸付けによる支出	—	△2,500
貸付金の回収による収入	611	1,162
保険積立金の積立による支出	△11,659	△20,408
保険積立金の解約による収入	—	8,729
差入保証金の差入による支出	—	△15,418
その他	△603	392
投資活動によるキャッシュ・フロー	49,009	△30,899
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	50,000	50,000
長期借入れによる収入	170,000	160,000
長期借入金の返済による支出	△143,234	△174,731
リース債務の返済による支出	△5,672	△6,547
自己株式の取得による支出	△33	△8,567
財務活動によるキャッシュ・フロー	71,059	20,153
現金及び現金同等物に係る換算差額	24	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	137,400	△56,237
現金及び現金同等物の期首残高	968,231	1,021,613
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 1,105,631	※ 965,375

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年6月26日開催の定時株主総会の決議により、会社法第448条第1項及び第452条の規定に基づき、資本準備金379,849千円を減少し、その同額をその他資本剰余金に振替え、振替後にその他資本剰余金366,013千円を減少し、その同額を繰越利益剰余金に振替え、欠損填補を行っております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が45,965千円になっております。

なお、株主資本合計金額には、著しい変動はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

当社グループは、健康自然食品の卸売業として単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

当社グループは、健康自然食品の卸売業として単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(その他注記事項)

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
荷造運送・保管費	217,189千円	240,645千円
給料手当及び賞与	243,241	245,461
研究開発費	18,516	27,673
退職給付費用	25,895	23,321
役員退職慰労引当金繰入額	5,500	5,500
賞与引当金繰入額	4,761	12,503
貸倒引当金繰入額	—	148

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
現金及び預金勘定	1,306,907千円	1,156,333千円
有価証券(MMF等)	32,324	42,342
預入期間が3か月を超える定期預金	△233,600	△233,300
現金及び現金同等物	1,105,631	965,375